ロボットシステムの構想提案から、最適システム導入まで
『ロボティクスソリューション』を実現！ FA&ロボット
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 会場：Aichi Sky Expo
小間番号 D-40

ダイドー ロボット館
絶賛開館中

東京 都営新宿線瑞江駅前
TEL.03-3676-9211
名古屋 名古屋駅より徒歩7分
TEL.052-583-6210

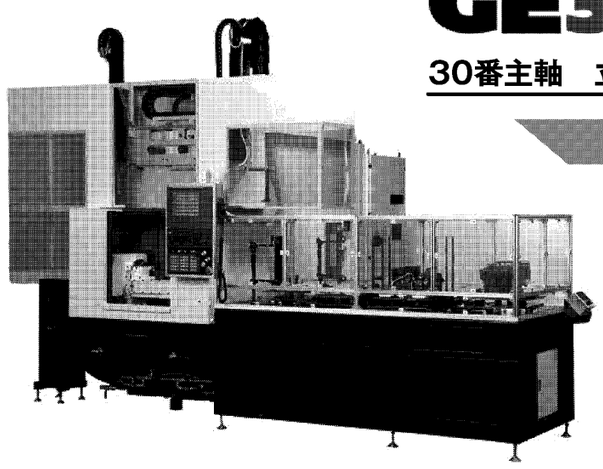
三河オートマチック
ファクトリー
無人化ライン
実演展示中

所在地
〒446-0007 愛知県安城市東栄町6-3-6
TEL.0566-96-5075

メカトロニクス技術商社
ダイドー株式会社
名古屋／名古屋市中村区名駅南4-12-5
東　京／東京都江戸川区瑞江 4-44-17
www.daido-net.co.jp

KONSEI
ロボットハンド／ロボット周辺機器
ロボットシステム／自動化装置
株式会社 近藤製作所
https://www.konsei.co.jp/
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 小間番号 E38

GE30V E-Loader 仕様
30番主軸　立形マシニングセンタ　機内内臓搬送装置仕様



多品種少量生産
自動化
省人化

繋ぐ技術を、世界へ
エンシュウ株式会社
■営業本部　第1営業部　TEL:053-588-2670
■営業本部　第2営業部　TEL:053-447-2445
■東京支店　TEL:03-5479-1671
■大阪支店　TEL:06-6338-2471
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 出展
7/4(木)▶6(土) Aichi Sky Expo ブース：C31

ロボットテクノロジージャパン開幕まであと1カ月

7月4日から6日までの3日間、愛知県国際展示場（愛知県常滑市）で開かれる産業用ロボットと自動化システムの専門展「ロボットテクノロジージャパン（RTJ）2024」の開催まで約1カ月に迫った。今回のテーマは「アイデアは現場だけでは生まれない。#1パーセントのひらめき」。人手不足が社会課題となる中、出展各社が自動化を実現する最新技術やサービス、システムなどを披露する。主催はニュースダイジェスト社（名古屋市千種区、樋口八郎社長）で、愛知県機械工具商業協同組合（同熱田区、水谷隆彦理事長）が共催する。

産業ロボと自動化の専門展

ロボットテクノロジージャパン（RTJ）は中部地域最大の産業用ロボットと自動化システムの専門展示会。2022年に初開催し、今回で二回目となる。出展社数は244社・団体で、規模は1320小間。前回展の202社・団体、1096小間を上回り、注目度の高さがうかがえる。同様の展示会としては東京ビッグサイト（東京都江東区）で開かれる「国際ロボット展」（日本ロボット工業会、日刊工業新聞社）に次ぐ国内2番目の規模となる。

自動車や航空機、工作機械産業など製造業の一大集積地である中部地域で開催される同展は、出展製品が製造現場や物流拠点の省人化に役立てるかを展示。来場者がシステムの導入を具体的に検討できるのが特徴だ。

また、産業機械とロボットが連携したシステムなど、製造現場でロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車（AGV）や自律走行搬送ロボット（AMR）、計測システムなどの企業も出展する。

システムインテグレーター（SIer）が集まる「SIerゾーン」も設けた。

中堅・中小企業も自動化への関心は高い

多彩な主催者企画にも注目

このほか、主催者による多彩なセミナーにも注目が集まる。展示ホールCのメインステージにて、毎日テーマに沿った催しが開かれる。4日は「最新のロボットシステムが実現するDay in 中部」が開かれる。最終日の6日は「ロボットでこんなことも！最新活用法」をテーマにボーイング ジャパンの先端技術・ロボティクスエンジニア、ハテム・アブデルハミード氏と次世代ロボットエンジニア支援機構の代表理事川節拓実氏が特別セミナーを開く。聴講は全て無料で、公式サイトからの申し込みが必要。各講演の定員は300人で先着順。

さらに主催者企画として、来場者が産業用ロボットの機能や動作精度を実際に体験できるゾーンも設ける。SIer協会、次世代ロボットエンジニア支援機構、中部地域SIer連携会が協力し、八つの体験コーナーを企画する。それぞれが得意とする技術を生かし、ロボを用いた射的や迷路、クレーンゲームなど次世代を担う子供たちにも楽しめる企画をそろえた。全て予約は不要。

工作機械メーカーもロボとの協働をアピールする

コロナ禍でも高い注目を集めた前回展

さまざまなゲームでロボと競争できる企画も用意

ウェブでニュースはいかがですか？

ニュースイッチ
NEWSWITCH
http://newswitch.jp/

■ ニュースイッチとは？
日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。
少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく。話題のニュースから、小さいけれどちょっと面白いニュースを幅広い読者へ。そしてニュースを起点に、コミュニティーを少しずつ作っていけたらと考えています。

■ 独自のテーマ
ニュースイッチ編集部が独自に企画・取材した特集記事をはじめ、新聞とは一味違う切り口でニュースをお伝えします。

■ 記者が記事選定・コメントをプラス
日刊工業新聞の記者がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。記事や取材背景を解説します。

日刊工業新聞社

加工現場の人手不足や自動化導入にお悩みの方へ

専門の担当者がいない
オークマの自動化システムならロボットのプログラムなど専門的な知識は不要。工作機械オペレータが操作できるシステムです。

スペースが確保できない
機械内にロボットを内蔵させるARMROIDなら、従来のロボットセルと比べて約20%のスペースで自動化を実現します。

変動する生産量に対応したい
移動式協働ロボットなら機械ごとの生産量に応じてシステム1台に対し最大10台まで接続できます。

こんな現場にこそ、オークマです

1台の機械を柔軟に使い分け
複合加工機+ビルトインロボット
MULTUS B250II ARMROID

生産量に合わせて繁忙機械を自動化
5軸制御立形マシニングセンタ+移動式協働ロボット
MU-500VIII+OMR20

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
ブース番号 展示ホールD04
OPEN POSSIBILITIES
オークマ株式会社 www.okuma.co.jp
OKUMA